

# エチレンを用いた越前スイセンの開花促進技術

福井県農業試験場

## 1 はじめに

越前スイセンの栽培面積は国内最大規模であり、重要な観光資源とともに、本県の重要な切花産地となっています。さらに産地発展のためには、安定した開花促進技術による生産が必要です。そこで、植物ホルモンの1種であるエチレンを用いた開花促進技術を紹介します。

## 2 エチレン気浴処理の方法

### エチレン気浴処理による開花促進技術の開発



エチレン気浴処理方法は、エチレンをシリンジ等の器具やポリ袋を利用した簡易な採取方法を使って採取し、球根の入った密閉できる部屋や容器等でエチレンを放した後、密閉し3時間後に開放します。これを3日連続して行います。

## 3 技術の効果

○ 籾殻くん煙処理に比べ、処理時の作業時間が短縮され、作業の軽労化が図られます。

籾殻くん煙 3時間/日くん煙後開放→エチレン気浴処理 約10分程度/日で処理、3時間後開放

○ 通常開花しにくい 20～30gの球根の開花率を高めることができます。

○ また、開花日も球根の大きさにもよりますが、処理していないものと比べ、約1～2週間程度(2013年12月開花平均)早まります。

○ 処理容積1m<sup>3</sup>の場合、必要なエチレンは、1日当たり100mlで3日連続処理により300ml使用し、約60円で実施できます。

表 開花率および開花日に及ぼす影響

処理方法	球重 (g)	開花率 (%)	うち4枚葉率 (%)	平均開花日
無処理	20～24	16.6	37.5	12月13日
	25～29	6.2	33.3	12月20日
	30～34	50.0	20.8	12月20日
籾殻くん煙処理	20～24	87.5	28.6	12月16日
	25～29	58.3	21.4	12月13日
	30～34	72.9	25.7	12月12日
エチレン気浴処理	20～24	87.5	23.8	12月9日
	25～29	100.0	39.6	12月8日
	30～34	100.0	53.1	12月10日

高温処理 30℃2週間 (2013年6月25日～7月8日) 後、7月9日～11日に籾殻くん煙処理 (30/m<sup>3</sup>)、エチレン気浴処理100ppm それぞれ3時間×3日連続処理し、戸外日陰で貯蔵後に9月26日定植

(農業試験場 花き研究 G 頼本英明)